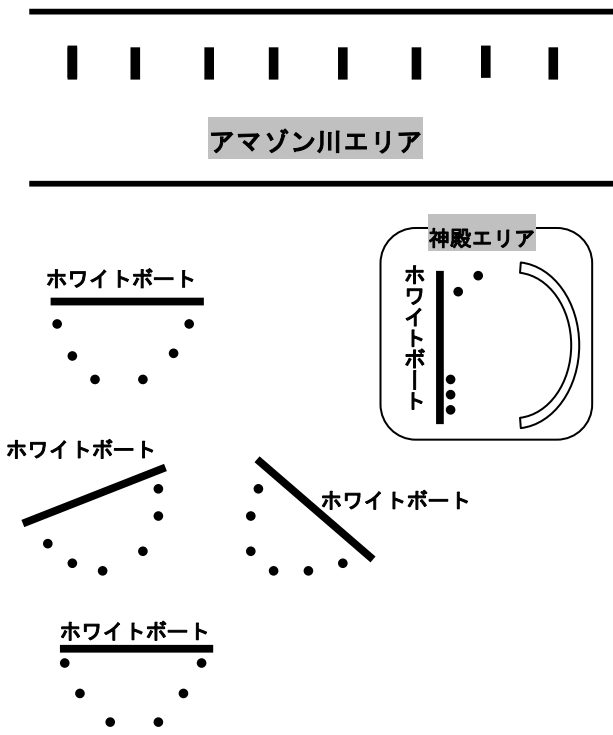


ドキドキ！「アマゾン川を渡ろう」

指導計画

	内容	留意事項
<p>教室配置</p>		<p><アマゾン川エリア> 5メートル前後の幅で、床にマスキングテープなどを用いてラインを引く。中央には課題カードを並べる。</p> <p><集落エリア> 各グループが議論を行えるスペースを確保し、グループに1枚ホワイトボードを用意する。</p> <p><神殿エリア> 審査員用の椅子を並べ、各グループがホワイトボードを持ってきて発表できるように、スペースを確保する。</p>
<p>用意する教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> アマゾン川エリア 岸のラインを示すためのマスキングテープ、A3用紙2枚×グループ数、課題カード×10種類、ピラニアワッペン5個×グループ数、「増水中」表示版×1枚 集落エリア ホワイトボード1枚×グループ数、ホワイトボード用マジック（黒・赤・青・緑）×グループ数 神殿エリア 椅子5脚（審査員用）、ブギーボード5個 	
<p>情報保障</p>	<p>講師が直接手話や文字を用いて参加者に情報を伝える。グループ内のディスカッションでは、互いのコミュニケーション状況に配慮し、全員が参加できる方法で話し合いを進めるよう伝える。</p>	

<p>ルール</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各グループともに、アマゾン川に浮かぶ課題カードを1枚ずつ取得し、そこに記載されているテーマに基づきディスカッションを行った後、その結果を神殿エリアにて発表、採点してもらう。 2. アマゾン川ではA3用紙2枚を浮き石として利用することができる。 3. 紙の使用方法は、各グループで自由に検討してかまわない（二つに切るなどしてもOK）。 4. ただし、紙からはみ出た学生は、ピラニアに食べられてしまう（ピラニアワッペンを胸に貼る）。 5. 課題カードには、「おにぎりは丸と三角のどちらがよいか？」などの2者択一式のテーマが書かれている。 6. 各グループは、課題カードに書かれたテーマに基づきディスカッションを行い、その結果をホワイトボードにまとめる。 7. 神殿エリアでは、このホワイトボードを効果的に活用しながら、5分間のプレゼンテーションを行い、5名の審査員（酋長）による採点を受ける。 8. 採点は20点満点とし、10点の減点ごとにひとりがピラニアワッペンをつけられる。 9. 2回課題をクリアしたあと、ピラニアワッペンをつけられていない学生のみがアマゾン川を渡ることができる。 10. 最終的に渡り終えた速さと学生の人数、プレゼンテーションの点数を合わせ、順位を決定する。 	
<p>進行・展開</p>	<p>○主旨説明（10分） 講師はスライド等を用い、進め方の説明を行う。</p> <p>○「アマゾン川を渡ろう」（40分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A3判用紙2枚を使って「因幡の白うさぎ」のイメージで各グループがアマゾン川にある課題カードを取ってくる。 ・ カードを取ったグループから集落エリアに移動し、それぞれ課題にしたがって議論を行う。話し合った結果は、ホワイトボードにわかりやすくまとめる。 ・ 議論がまとまったら、神殿エリアにホワイトボードを持っていき、審査員に対して5分間のプレゼンテーションを行う。 ・ 審査員はプレゼンテーションの内容を見て20点満 	<p>アシスタントは紙からはみ出す学生がいないかよく見て、もしいたらピラニアワッペンを貼る。</p> <p>議論はディベート形式で行うよう伝え、アシスタントが各グループの指導を行う。</p> <p>審査員には、2者択一式の回答のうち、両方のメリット・デメリットがきちんとあ</p>

	<p>点で評価を行い、この点数を平均して総合点とする。点数はその場で学生に伝えるとともに、10 点の減点毎に一人にピラニアワッペンをつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1～5 の要領で課題を 2 回繰り返した後に、ピラニアワッペンをつけられていない学生だけが、アマゾン川の向こう岸に渡る。この際も A3 用紙 2 枚の浮き石からはみ出ないように工夫するよう伝え、紙からはみ出した学生にはピラニアワッペンをつける。(この際、競争的要素を出すため、二組が競い合っ て渡れるよう時間を調整する。待ち時間には、アマゾン川エリアに「増水中」の表示を出すなどしてもよい) ・ 全体の制限時間は 40 分とし、最終的に渡り終えた順番によって、1 位のグループは 1 人 20 点、2 位のグループはひとり 18 点・・・と点数をつけていき、(渡り終えた人数×点数) + (プレゼンテーションの獲得点数) で総合順位を決定する。 <p>○ まとめ (10 分)</p> <p>すべてが終了したら、審査員は最も素晴らしいプレゼンテーションを行ったグループを発表し、このグループにもう一度全員の前で発表をしてもらう。</p> <p>○ 課題カードの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おにぎりは丸い形と三角形でどちらが良いか ・ 犬と猫ではどちらが素晴らしいか ・ 学校は私服と制服のどちらが良いか ・ 好きなものは先に食べるか、最後に食べるか ・ お金と愛、どちらが大切か ・ 年賀状は必要か、不要か ・ 見苦しい歩道橋はなくすべきか ・ 洋画は字幕が良いか、吹き替えが良いか ・ 風呂で頭から洗うか、足から洗うか ・ 原子力発電を廃止すべきか 	<p>げられているか？説明は論理的で説得力があるか？など論理性の面から採点を行ってもらうよう伝える。</p>
<p>指導教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題カード ・ ピラニアワッペン 	